

第2号議案—1

品質保証研究会 令和6年度活動計画

1. 活動基本方針

活動成果のなお一層の充実とその活用を図るため、以下の活動を実施する。

- ・全会員対象の講演会、見学会を計画し、会員相互の啓発を図る。
- ・定例研究会活動としては、第1、第2の各グループにおいてテーマに基づく研究を推進し、その活動成果を取り纏め、会員の活動に有益となるように努める。
- ・会員間の情報交換、コミュニケーションの場の提供を図るため、QASG ニュースを発行すると共に、ホームページの有効活用を図る。

この方針に基づき、令和6年度の具体的な推進計画を以下に記載し、全体の活動計画(補足)を表1に示す。

2. 活動計画内容

2.1 総会

第34回通常総会を開催する。

2.2 講演会の開催

- ・総会終了後、特別講演会および定例研究会活動に関する報告を行う。
- ・下期(令和7年2月)に1回の講演会を予定する。

2.3 見学会の開催

下期(令和6年10月)に1回の見学会を予定する。

2.4 「QASG ニュース」の発行

年度内(令和6年9月、令和7年1月、5月)にQASG ニュース発行を予定する(計3回)。

2.5 定例研究会活動

(1) 第1グループ

研究テーマ:最新知見を踏まえた品質コンプライアンス事故を発生しない/させないQMS等の研究

令和6年度は、「国内外最新知見を踏まえた品質コンプライアンス事故を発生しない/させないためのガイド」を発行するために、品質コンプライアンス事故事例や、品質コンプライアンス事故の再発防止に繋がる安全文化醸成活動事例等を収集する。収集した事故事象、原因・対策を研究し、会員各社のQMSに落とし込みやすい品質コンプライアンス事故を発生しない/させないためのガイドを提案する。

(2) 第2グループ

研究テーマ: NHK*1の実践(調達先評価、監査方法の改善含む)の研究 *1: 無くす、減らす、変える

令和6年度は、総会で依頼した会員各社へのアンケートの取りまとめから開始する。本アンケートにより、各社の調達管理に関するNHK事例を活動背景も含めて把握し、事例集として整理する予定である。さらに、初回アンケートを補完する目的で2回目のアンケート調査を実施して、初回で挙げていただいた各社の困りごとを対象として再度具体的な事例を収集し、また初回で掘り下げきれなかった部分についても情報を収集することで、事例集としての完成度を高める考えである。最終的には収集した情報を基にして、会員各社が調達管理のNHKに取り組む際に参考となるガイドを作成し、各社の調達管理がより効果的かつ効率的になることを目指す。

以上

第2号議案-2

品質保証研究会・令和6年度収支予算案
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

単位:(円)

収入の部	金額	前年度予算額
会費収入	700,000 会員70名想定	700,000
講演会参加費収入	20,000 昨年実績より4人分想定	20,000
見学会参加費収入	12,000 昨年実績より4人分想定	12,000
その他収入	200,000 総会后懇親会会費40人分想定	200,000
収入計	932,000	932,000
前期繰越金	1,616,991	
合計	2,548,991	

支出の部	金額	前年度予算額
総会関係	700,000	700,000
定例研究会関係	150,000	150,000
講演会	150,000 2回分(特別/通常)	200,000
見学会	20,000 1回分	20,000
ホームページ	142,000 令和6年度分	280,000
支出計	1,162,000	1,350,000
予備費	1,386,991	
合計	2,548,991	